

精神科

主任部長 しらいし 白石 やすこ 康子

専門医等

日本精神神経学会 専門医・指導医
日本医師会 認定産業医

卒年

平成8年



診療科の紹介

八幡病院精神科では広く精神科一般の病気を診ています。妄想や幻覚で苦しんでいる人や気持ちが落ち込んで苦しんでいる人から、職場の悩みを抱えて体調不良に悩む人、夜眠れなくて困っている人等、症状やその程度は様々です。一口に精神科の病気といってもひとりひとり症状も治療法も違ってきますから、その人に一番良い治療法を目指しています。

なかでも認知症に関しては、令和2年6月もの忘れ外来を始めました。当科での心理検査と放射線科の画像検査をもとに検査をし、早期に認知症の診断・治療ができるよう努めています。下記に認知症の画像診断を紹介しています。また外来患者さんだけでなく、当病院に入院中の他科患者さんの心のケアにもあたっています。なお当院には精神科の病床はありませんので、入院が必要な場合は他の精神科病院を紹介しています。

以上午前中の精神科外来、予約制の物忘れ外来、午後からの他科入院患者さんの精神面のケア（コンサルテーション・リエゾン精神医学）を主な業務としています。



取り扱う主な疾患

【診療時間】

一般外来

月曜日～金曜日 受付時間：午前8時から11時
新患・再来とも予約制ではありません。

物忘れ外来

水曜日 午後2時から4時（ただし第3水曜日は除く）
完全予約制です。

認知症の画像診断

【VSRAD検査】

放射線科で行うMRI検査です。早期アルツハイマー病では、脳萎縮が海馬で著明であるため、脳全体と海馬の萎縮の程度を一定値（ボクセル値）へ変換した後、健常人のデータベースを対照として解析することで、海馬領域が特に障害されているかを判定します。これまでの核医学検査を用いた方法と違いMRI検査にて比較的手軽にできるようになりました。早期アルツハイマー型認知症の診断に威力を発揮しています。その結果、診断後早期治療も可能になりました。

【ダットスキャン（Dat-scan）検査】

放射線科で行う核医学検査（123Iイオフルパン）です。これまでの交感神経機能検査と違い、直接脳の交感神経機能の情報を得られます。この検査の対象となる病気は認知症疾患です。パーキンソン症候群、レビー小体型認知症における黒質線条体ドパミン神経の脱落の有無を調べることができます。それによってアルツハイマー病等の別の認知症との鑑別が可能になります。